



H19. 11. 2 No1242
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 本会第8回理事会開催 平成19年度上半期の事業状況等を報告

本会では、去る10月26日第8回理事会を開催し、平成19年度上半期の業務報告及び二枚貝集出荷施設機械設備工事の入札について審議を行い、いずれの議案も承認を得ました。

当期は石油価格高騰の影響が懸念された中で、購買事業がシラス船曳の好漁により軽油、魚箱及び包装資材の取扱が増加、一方では販売事業が原魚等仕入価格の値上りにより利益幅が縮小、アサリの集出荷事業も漁模様が悪く取扱減、また天草共販は手数料徴収方法の見直しにより収益が増加したことで、総取扱高は4,528百万円(計画比53%、前年比98%、以下同じ)、事業総利益208百万円(54%、96%)と当初計画を達成したものの前年を若干下回る結果となりました。しかしながら、事業利益は人件費の削減による管理費の減少により計画・前年ともに上回る20百万円の実績を得、更に財務収支における金利負担の増加があったものの事業外収支の好転により経常利益は31百万円(147%、576%)となり、石油価格の不安定要因を抱えつつも経営収支は順調に推移していることを報告しました。

また、指導事業では最重点施策としての県下4地区合併構想に向けた取組状況や漁協巡回での経営等各種指導、会員監査の実施、漁政対策としてはトラフグ等の資源管理、密漁対策、おさかな普及・遊漁船対策等の報告がなされ、温水利用委託事業では魚種別の種苗生産が概ね順調に行われている旨を説明し、上半期の事業報告及び仮決算収支のいずれも承認を得ました。

2. 中部地域栽培漁業推進協議会発足

- 静岡県漁業振興基金 -

去る10月1日、県央部に中部地域栽培漁業推進協議会が発足しました。

協議会は、田子の浦漁協から大井川町漁協の範囲の5市町と7漁協を中心に、稚魚放流を通じマダイ資源の増大と持続的利用を図ることを目的としています。

まだ発足したばかりで、詳細な詰めは内部機関の幹事会において、平成21年度からのマダイ稚魚放流に向け検討中です。

今後、中部地域の事業が定着すれば、県全体の栽培漁業推進協議会を組織し、県下一円に及び栽培漁業の推進を図ることを計画しています。

3. 平成19年度県農林水産業功労者表彰 漁業関係者3名が受賞

県、農林水産業の関係団体でつくる静岡県農林水産業振興会(会長:石川嘉延県知事)では、10月9日県農林水産業功労者等表彰選考委員会を開催し、表彰者45名を決定しました。

漁業関係では、本会並びに県信漁連が推薦した、久米 勇氏(吉田町漁協組合長)、野寄喜弘氏(浜名湖養魚漁協組合長)、星川壽美雄氏(浜名漁協組合長)が、本県水産業の振興発展に貢献した功績が認められ表彰の栄誉に輝きました。ここに受賞された皆様に衷心よりお喜びを申し上げます。なお、表彰式は11月5日県庁にて執り行われます。

4. 平成19年度漁協女性部幹部研修会開催

- JF静岡女性連 -

JF静岡女性連(会長:津島幸子稲取漁協女性部長)では、漁村女性のリーダーとしての幅広

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

い知識と教養を高め、女性部活動の充実を図ることを目的に、10月12、13日の両日、東伊豆町稲取において、漁協女性部の幹部部員等32名の参加のもと幹部研修会を開催しました。

1日目は、稲取温泉観光協会事務局長の渡邊法子氏から「渡邊式地域資源の掘り起こし方」をテーマに、地域活性化の方法について、渡邊氏自身が手がけてきたまちづくりでの実績や、現在稲取で取り組んでいる具体的な事例をあげながら、立ち上げ方から事業化までの方法についての講演がありました。

その中で、魅力的な地域にするためには「住民が地域の良さを再発見し、再認識した上で情報発信をしていくことが大切で、そのためには、職種・年齢などの枠を超えたネットワークで、協力し合い主体的に活動すること。そして、自立するために収益をあげること。」と述べました。

続いて下田海上保安部警備救難課長の石川道雄氏から「海難事故防止について」をテーマに講演があり、海上保安部の業務内容につき説明があったほか、ライフジャケットの着用をぜひ家庭から声をかけて欲しいと、万一の海中転落に備える重要性が説明されました。2日目は、稲取漁港を視察し、稲取漁協佐藤組合長などから稲取の漁業の特徴について、水揚げされたばかりのキンメダイを目の前に説明がありました。

その他、風力発電所やみかんワイン工場などを視察し知識を深めたほか、相互の親睦を図りました。

5. 秋の全体活動に参加! 口坂本悠久の森で豊かな森づくり

環境保全活動の一環として、本会も参加する「口坂本の森クラブ」全体活動が、10月21日 静岡市葵区口坂本に位置する悠久の森で実施されました。

これは、豊かな森づくり活動(植栽・下草刈り)を推進し、その活動を通じて森を交流の場として活用する目的で、平成12年に同クラブが設立されたものです。

当日は、A~F班までの構成7グループから60名が集結し、A班<漁業者グループ関係>からは14名【静岡漁協青年部・由比港漁協(蒲原)女性部・県生協連・県信漁連・県漁連】が、このイベント活動に参加しました。

今年も天候に恵まれた中、参加者全員で植林した広葉樹の成長を確認しながら、背丈ほど伸びたススキや雑草木を刈るなど、それぞれが森を通じた川や海の環境保全に思いを持ちながら、汗をした下草刈り作業に取り組みました。

今後も、「豊かな森づくり活動」に、多くの方が参加者される事が望まれます。

6. 平成19年度天草共販第8回入札会開催される

本会では、10月24日賀茂出張所において、天草共販の第8回入札会を開催しました。8回までの取扱累計は数量196,198kg、本数7,874本(前年比52,243kg、2,088本増)、取扱金額188,544千円(同5,092千円増)、平均単価9,609円(同3,134円減)となりました。

なお、今回の入札結果は次のとおりです。

入札数量: 33,202kg(1,332本) 取扱金額: 34,418千円 平均単価: 10,366千円(10kg当たり) 最高入札額: 15,490円(10kg当たり) 生産地 = 八木沢、銘柄 = 晒一

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう